

【 ファシリテーターの活動状況 】

第3回地域包括ケア専門職“絆”研修③終末期支援「看取りの時期」

■ 日時 平成31年3月17日（日） 9:15～12:20

■ 場所 東部医師会館3階研修室

◎ 研修参加者 48名(内 多職種研修WG関係者3名)：7グループ

※今回は8名のファシリテーターが、2/26・3/7・3/12に事前準備を行い、研修当日最終打合せ後に研修にのぞみました。

※事前準備では研修内容の確認、プレゼンターとのグループファシリテーターの打合せ、グループファシリターの介入についてを話し合い。プレゼンテーションに関しては「双方向性講義のためのスキルチェックリスト」を利用し、マイクロティーチングを行いました。

◆ファシリテーター紹介・アイスブレイキング

(金谷佳寿子ファシリテーター：地域でくらす会 認知症地域支援推進員)



◆後半のワーク②のプレゼンテーション

(山根綾香ファシリテーター：鳥取市立病院 看護師)



○ ファシリテーターの振り返り自己評価（一部抜粋）

1. ファシリとして良くできたと思うこと、このままやっていこうと思うこと

- ・グループワークの時間の使い方を自分たちで考えていく雰囲気が自然に出来、それをフォローすることが出来た
- ・プレゼンターの補足説明（時間管理的なところ）が良いタイミングで出来たと思う
- ・プレゼンターとして、スライドに書いてある事だけでなく自分の経験などを盛り込んで、参加者に伝わるように意識してプレゼンできた。

2. ファシリとして今後努力を要すること、やり方を変えてみようと思うこと

- ・司会・発表者についてベテランがされるのも良いが、あまり参加したことのない人に練習としてやってみることを促してみるのも良いかもしれない
- ・「ちょっとここは深めたほうが良いかな」と感じた時に、スムーズに介入出来るスキルを模索していきたいと思いました。

3. 研修参加者にとって何が・どんなことが一番よかったか

- ・「介護職にしかない強みは何か」という発言があった時に、「チームとして不要な職種はない。その為に話し合い、適宜考えていく事が大切」という意見が出ており、チームケアの大切な所に触れた気がしました。
- ・多職種に意見を受容される体験（特に介護士）
- ・椅子だけのワークを行って、受講者間のコミュニケーションがスムーズに実施された。

4. 研修参加者にとって何が・どんなことが良くなかったか

- ・参加者の職種のウエイト（医療>介護）により介護側がアウェイ感を受ける場合も
- ・次は人前で発表するかもしれないというプレッシャー。

5. 研修までの準備に関する感想

- ・ 講義の意図、ワークの意図を十分に把握しファシリする事が必要なこと、ワークの進行に有効なことが認識で来た。

6. その他（感想・意見）

- ・ 研修参加経験のある参加者がいる事で、ワークがうまく進行された。発言してよい環境、意見交換できる環境がワークの中で整えられてきたのではないかと感じた。
- ・ 多職種でグループワークを行うと、沢山の気づきがあるので、毎回とても勉強になります。

